



SPORT&MEDICINE

# #2 TUE申請を知ろう

記事 2021-2 | 薬剤師/スポーツファーマシスト 相原美穂 |

今回は、“アスリートが治療を受ける際に準備しておくこと”です。

「もし病気や怪我をして、治療薬がドーピング対象だったら競技大会にはでられないの？」  
前回お話したとおり、  
適切な手段をとれば、治療を受けながら競技は続けられます。

正確な手続きについてはJADA（日本アンチ・ドーピング機構）のWebサイトで確認できますので、ここでは全体の流れ・TUEの概要を理解することを目的とします。

---

## <目次>

- I. 治療を受けるときに
  - II. TUE（治療使用特例）とは
  - III. TUE 申請
  - IV. 禁止の対象・分類
- 

### 自己紹介

スポーツファーマシストとして、2018年より薬局に勤務しつつトレーニングジムでアンチドーピング活動をしています。  
健康増進・スポーツ競技に取り組む・サポートする・応援する すべての人を尊敬しています。  
自分にできることを考え、貢献していきます。

趣味 | マラソン ウエイトリフティング

## 治療を受けるときに

では、「適切な手段とは」何か。

ドーピング対象は、禁止物質と禁止方法（投与方法など）があります。

以下のような順を追って、治療を開始することが大切です。

病院に受診→診察を受ける→競技アスリートであることを伝える

→禁止物質・禁止方法以外を用いて治療できるか相談

①できる

すみやかに治療開始

②できない

TUE(治療使用特例)を申請（書類の作成→提出）→TUE委員会で審査

→③ TUE付与→禁止物質・禁止方法を用いて治療を開始

→③' 申請却下→治療の再検討 もしくは 記載不備の場合には、修正し再申請

## TUE（治療使用特例）とは

TUE (Therapeutic Use Exemptions | 治療使用特例) は、禁止物質・禁止方法を治療目的で使用するための手段です。

世界アンチ・ドーピング規程 (World Anti-Doping Code : Code) とTUE国際基準 (ISTUE) で手続きが定められています。

定められた手続きに沿ってTUEをアスリートが申請し、付与されれば禁止物質・方法での治療が受けられます。

TUE付与の条件

- ・治療上必要で、使用しないと健康に重大な影響を及ぼすことが予想される
- ・ほかに代えられる合理的な治療方法がない
- ・使用しても、健康を取り戻す以上に競技力を向上させる効果を生まない
- ・ドーピングに対する治療ではない

TUE審査は3人以上の医師で構成されたTUE委員会でおこなわれ、付与の条件に該当しなければ却下となります。

## TUE（治療使用特例）申請

### 準備

アスリートの競技レベル、参加する競技会によって、申請の時期と申請先が異なります。競技レベルによっては事前申請が不要の場合もありますが、大会参加後に申請を求められることがあります。治療前に、主治医とTUE付与条件の確認を必ず行いましょう。

競技レベルのカテゴリーは大きく

国際レベルアスリート / 国内レベルアスリート / それ以外のアスリート に分類されます。

### 作成

アスリートに関わる情報は自身で、医学的情報（診断内容など）は医師に記載してもらい作成します。すべて英語で記載。

必要な書式はJADAのWebサイトからダウンロードできますが、書式変更がなされることがありますので最新のものを用意しましょう。

### 申請

原則TUEが必要な大会の30日前までに申請。（30日を過ぎても受付はされます）

TUEが付与されなければ、医療上の理由があっても使用により“アンチドーピング規則違反”と判断される可能性があります。

### 提出先

競技レベルのカテゴリー別に、国際競技連盟（IF）指定の窓口へ提出、またはJADAの窓口へ郵送。

書類に不備があると、TUE委員会からアスリートへ通知文が郵送されます。

### 結果

審査の終了後、判定書がアスリートへ送付。

### 期限

付与されたTUEには、必ず有効期間があります。有効期限が終了した場合は、直ちにTUE申請手続きをすすめてください。

また、新たにTUE付与された以外の処方薬を用いる場合・TUE付与された以外の投与方法を用いる場合も同様にTUE申請を行います。

### 緊急時

緊急治療で、申請前に禁止物質・方法を使用した場合は、「遡及的TUE申請」という事後申請で対応する方法があります。

TUE付与の基準は、通常のTUE申請と同じ。

手続きには、通常の申請書類に加えて“緊急治療であったことが証明される所見”などの医療情報が必要となります。

## 禁止の対象・分類

禁止物質・方法は、

「常に禁止される物質・方法（競技会（時）及び競技会外）」と、「競技会（時）に禁止される物質・方法」に分類されます。

さらに、「特定競技において禁止される物質」分類もあります。

治療を受ける際には、競技レベルの分類に加えて、取り組んでいるスポーツ競技も主治医に伝えましょう。

その上で、処方薬・方法が大会に向けた準備・練習期間中 常に禁止か、大会参加時のみ禁止かの確認を行い、治療方針を相談・TUE申請の検討をしていくことが必要となります。

治療に至るまでの流れや必要な情報を、自身である程度知っておくことは大切です。

最近読んだ本の受け売りですが、「知っている」と「やったことがある」は全く別物なので、起こりうるリスクを想定し行動し（情報元・信頼できる医療機関の選別など）、可能な限り経験しておくことをお勧めします。

それでは、また次回に >>>

### 2021-2 薬局日記#2

- ・職員用に、非接触体温計が各店舗に置いてあります。毎朝出勤時に検温。健康管理に努めてます。



#### 参考文献

世界で求められる知識 - プロに教わろう | PLAY TRUE | JADA <<https://www.realchampion.jp/knowledge>> (最終閲覧日 2021/2/10)

世界のスタンダード - アスリートに必要な手続き | PLAY TRUE | JADA <<https://www.realchampion.jp/process>> (最終閲覧日 2021/2/10)

Global DRO - Home <<https://www.globaldro.com/JP/search>> (最終閲覧日 2021/2/10)

国際基準 | 日本アンチ・ドーピング機構 | Japan Anti-Doping Agency (JADA)

<<https://www.playtruejapan.org/code/provision/world.html>> (最終閲覧日 2021/2/10)